

整理番号	22	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	ファミリーサポート事業		
所属名	子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター係	電話番号	03-3877-2460

事業の目的・概要・対象者等	<p>《事業の目的及び概要》</p> <p>地域において子育ての援助を行うことを希望する方と育児の援助を受けることを希望する方が、子育てに関する相互援助活動を行うことにより、区民の仕事と育児の両立に資するとともに子育てをする家庭を支援することを目的とします。</p> <p>子育てのお手伝いをしたい方（協力会員）と、お手伝いを頼みたい方（依頼会員）がそれぞれファミリーサポートの会の会員となり、地域で子育ての助け合いを行うものです。</p> <p>〈概要〉 ・ 保育園や幼稚園などの開始前、終了後の預かり ・ 保育園などへの送迎                  ・ 一時的な預かり ・ そのほか、会員の子育てに必要な援助                  ・ 1時間あたり800円を会員間で援助報酬として支払う。</p>	<p>《事業の開始年度》 平成13年度</p>			
	<p>【ファミリーサポート会員数・17年度末】</p> <p><b>対象者</b></p> <table border="1"> <tr> <td>協力会員</td> <td>442人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員</td> <td>1,280人</td> </tr> </table> <p>《依頼会員からの多種多様な援助依頼の増加に比べ対応できる協力会員の増加は微増です。》</p>	協力会員	442人	依頼会員	1,280人
協力会員	442人				
依頼会員	1,280人				

活動指標	<p>活動指標</p> <p>協力会員数</p> <p>17年度 442人 (16年度 402人) 17年度中会員更新。</p>	<p>活動指標</p> <p>依頼会員数</p> <p>17年度 1,280人 (16年度 1,276人)</p>
------	--	---

成果・目標指標	<p>成果・目標指標</p> <p>活動回数</p> <p>17年度 15,332件 <b>20年度目標 20,000件</b></p> <p>依頼会員の需要に応える体制づくりにより、活動機会を増加させていきます。</p>	<p>成果・目標指標</p> <p>活動時間</p> <p>17年度 30,053時間 <b>20年度目標 40,000時間</b></p> <p>依頼会員によって、利用頻度は異なりますが、一人あたり、年間平均12回、23時間です。</p>
---------	---	--

経費の概要	<p>17年度 事業実施経費 33,185千円</p> <p>内訳</p> <p>延べ会員一人当たりの経費1,668円 延べ会員 = 年間管理会員数19,891人</p> <p>【人件費と担当職員数】</p> <table border="1"> <tr> <td>24,210千円</td> <td>ア 常勤職員</td> <td>3.0人</td> </tr> <tr> <td>人件費3人分は委託事業費に含まれます。</td> <td>イ 非常勤職員</td> <td>0.0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウ 臨時職員</td> <td>0.0人</td> </tr> </table>	24,210千円	ア 常勤職員	3.0人	人件費3人分は委託事業費に含まれます。	イ 非常勤職員	0.0人		ウ 臨時職員	0.0人	<p>経費の説明</p> <p>17年度は、江戸川区社会福祉協議会への委託事業です。 委託事業費 33,185千円 (内訳：人件費24,210千円、委託運営費8,975千円) 都より補助金3,629千円の歳入あり</p>
	24,210千円	ア 常勤職員	3.0人								
人件費3人分は委託事業費に含まれます。	イ 非常勤職員	0.0人									
	ウ 臨時職員	0.0人									

その他	<p>《実施の根拠となる法令等》 ・ 江戸川区ファミリー・サポート・センター事業実施要綱</p> <p>《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》                  ・ 私立幼稚園6園及びNPO2箇所によるサブ・センターと私立幼稚園全園は協力園です。                  ・ 協力会員の中から、地域のまとめ役となるサブ・リーダーを募り、現在28人の方がボランティアで主体的に活動しています。</p> <p>《その他》                  ・ 区の子育て支援事業とあいまって、効果的なサービス提供を図るため18年度から区直営としています。                  (子育てひろばの運営協力、グループサポート)                  ・ 依頼会員の増加に比べ会員ひとりの活動回数、活動件数の頻度はさらに増加する傾向にある。                  ・ 依頼会員が、感謝の気持ちから子育てが一段落した時期に協力会員として活動する場合があります。</p>
-----	--

# 平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

<b>整理番号</b>	22	<b>事業名</b>	ファミリーサポート事業
-------------	----	------------	-------------

<b>所属名</b>	子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター係
------------	----------------------------

## 所管課長評価

そう思う ↔ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
	【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5						
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。				3			
	【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5						
4	成果が上がっている。			4				
	【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			4				
6	受益者負担の額は適切である。			4				
	【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。						1	有償ボランティア活動
8	民間事業者への委託等の可能性がある。				3			
	【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。	5						
10	経費を削減できる可能性がある。			4				

## 所管部長の意見等

ファミリーサポート事業は、地域における育児の相互援助活動である。基本的には会員同士の助け合い事業であるが、総合的な子育て支援事業を推進するために、地域の貴重な人的資源である協力会員を、より積極的に、柔軟に活用していくことが必要である。そこで、区の直営事業とし、地域特性や能力を持ったたくさんの方々の連携またはグループ化などあらゆる方法を検討しつつ、ファミリーサポート事業を発展的に展開していかなければならない。

# 平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	22	事業名	ファミリーサポート事業
------	----	-----	-------------

所属名	子ども家庭部 子育て支援課 子ども家庭支援センター係
-----	----------------------------

## 外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			3			
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。		4				
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。					1	*実施済み
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

## 外部評価委員の意見

地域での助け合いによる子育ては、親子ともにプラスになっていると思う。  
 若干なりとも受益者負担は求めたほうがよいのではないかと。  
 柔軟な運営のために、委託から区直営にしたようなので、効果を期待したい。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。